

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

- ◇ 学習指導要領の改訂及び「高校授業料無償化」の取り扱いについて記者会見
- ◇ 第27回参議院議員通常選挙 他

神戸市中央区中山手通4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokoky@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

兵高教第39回定期大会開催

6月28日(土)、神戸市教育会館において兵高教第39回定期大会が開催されました。日教組、兵教協、その他各労働組合、共闘諸団体のご代表の方がた、各級議員の方がたに来賓としてご臨席いただきました。兵高教の今年度の運動方針と、当面する具体的なとりくみを決定しました。

開会宣言、議長・議運の選出に続いて、主催者を代表して西村恭介執行委員長が来賓への謝辞の後、6月23日の沖縄慰霊の日に触れ、80年を経た今日もなお世界各地で同様の惨状が続いていることを憂い、「戦争は最大の人権侵害」であると訴え、「教え子を戦場に送るな」のスローガンの下、志を同じくするなまと連帯し、とりくみを強化していかなければならぬ、と述べました。次に、子どもたちの自死が増え続けていることなど、日本の子どもたちの置かれた状況が極めて厳しいことを指摘し、日本国憲法および子どもの権利条約の理念をもとに、すべての子どもが誰一人として排除されることなく、学校が安心・安全に過ごせる場となるよう、学級・学校づくりをすすめていかなければならぬ、と訴えました。「学校の働き方改革」については、私たちが求めるのは給特法の廃止・抜本的見直しであり、今回の給特法等の改正は過点に過ぎず、引き続き運動を強化していくうえ、呼びかけ、政策制度要求実現に向けたとりくみが極めて重要であることを訴えました。最後に、組織拡大・強化のとりくみを総括した上で、兵高教運動をさらに進めていこう、とあいさつを述べました。

その後、ご臨席いただいた日本教職員組合・山木正博書記長、兵庫県教職員組合・森戸卓也中央執行委員長、立憲民主党兵庫県連合会代表・井坂信彦衆議院議員より連帯のごあいさつをいただきました。

午前中は、2024年度諸会計の報告および会計監査報告、2025年度選挙管理委員等の報告、承認が行われました。

午後は、岩井書記長より第1号議案「2024年度とりくみの経過と2025年度運動方針(案)」が提案されました。代議員からは、「働き

やすい職場づくりのために、安全衛生委員会に積極的に参画すべき」「新しい職(主務教諭)の設置について、外国籍教員に対する待遇上の差別に置かないようとりくむことが必要」「学校の施設設備の改善が不十分。エレベーターの設置も進んでいない。賃金面だけではなく、子どもたちの安全・労働環境の改善を求めるとりくみも強化すべき」「現業職員の業務量も増えている。安全衛生委員会に現業職員もぜひ参加するようとりくみをすすめよう」「特別支援学校高等部でもタブレット端末購入は保護者負担となっているが、価格が高騰している。県教委は安価な端末を選択することで対応を、というが、小・中学部で使用しているものと異なる機種にするのは困難である」「自動採点システムの更新でアプリケーションが変更になることに不安を感じる」等の問題提起や質問・意見が

ご臨席いただいたご来賓のみなさま

(順不同、敬称略)

日本教職員組合 書記長	正 博
兵庫県教職員組合 中央執行委員長	卓 也
神戸市教職員組合 副執行委員長	紀 子
自治労兵庫県本部 執行委員長	忠 之
全水道神戸市水道労働組合 執行委員長	治 恵
兵庫県学校厚生会職員労働組合 執行委員長	彦 信
立憲民主党兵庫県連代表・衆議院議員	悟 悟
衆議院議員	典 悟
衆議院議員	宏 一
兵庫県議会議員(西宮市)	慈 幸
兵庫県議会議員(垂水区)	浩 和
神戸市会議員(東灘区)	貞 一
神戸市会議員(中央区)	ぐ む
神戸市会議員(須磨区)	和 輝
神戸市会議員(北区)	ぐ ん
芦屋市議会議員	亮 介
伊丹市議会議員	佐 人
尼崎市議会議員	亞 輝
立憲民主党兵庫県連合会副代表・第2区総支部長	治 邦
立憲民主党兵庫県連合会副代表・第10区総支部長	圭 子

や青年層の組合員の機関会議等への積極的参画が満場一致で可決・承認されました。兵高教では2023年に「第二次女性参画推進計画」を策定し、女性労働環境の改善を求めるとりくみも強化すべきと異なる機種にするのは困難である」「自動採点システムの更新でアプリケーションが変更になることに不安を感じる」等の問題提起や質問・意見が

提案され、すべての議案が満場一致で可決・承認されました。その後、諸会計議案が提出され、執行部の見解を示すとともに、現在のとりくみ状況を説明しました。大会代議員の女性参画率は約30%でした。今後も女性参画の推進および兵高教運動の次世代への継承について、支



井坂衆議院議員 日教組・山木書記長 兵教組・森戸委員長 主催者あいさつ

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

6/24 日教組、学習指導要領の改訂及び「高校授業料無償化」の取り扱いについて記者会見を実施

6月24日、「2026年度 教育予算拡充に関する要請書」「学校の働き方改革の実行化に係る要請書」「教育課程特別部会『論点整理』にむけた意見書」「『高校授業料無償化』の取り扱いに関する意見書」を文科省に提出しました。その後、記者会見を行い「学習指導要領」並びに「高校授業料無償化」についての日教組の見解を訴えました。

中教審教育課程部会教育課程特別部会において、現在、授業時間の弾力的運用や柔軟な教育課程の編成、小学校の総合学習で情報領域を新設すること等、次期学習指導要領にむけた方向性が議論されています。また、国会で議論された給特法等一部改正法案では、一人当たりの担当する授業時数を削減することや、教育課程の編成のあり方について検討すること、部活動の地域における「展開」等を円滑にすすめること等が附則に記載されました。日教組は、カリキュラムオーバーロードの解消が最大の課題であり、総授業時数の削減と学習指導要領の内容の削減にむけた方策を求めていました。

次期学習指導要領の改訂において、特に検討を要する点は以下のとおりです。

- ①年間総授業時数を削減すること
- ②学習指導要領の内容精選をすること

- ③特別活動の時間をゆたかにすること
 - ④学習指導要領から部活動の記載を削除すること
 - ⑤標準時数を「最低基準」とした2003年通知の見直しをすすめること
 - ⑥教育課程企画特別部会におけるヒアリングの機会を設けること
- 日教組は6月末、「日教組カリキュラム提言～今後10年間の学びを決める学習指導要領改訂への『5つの提言』」を公表しました（「カリキュラム提言」は後日各分会に配布します）。

「高校授業料無償化」については、教育政策全体に影響しないよう、教育予算を拡充した上で実施することをはじめ、公立高校にも私立高校と同額を補助して、授業料相当額を超える分は公立校の施設設備に充てるなど学校設備の改善をすすめること、朝鮮学校も対象とすることなどを求めています。

丹野中央執行副委員長は、「子どもの学びを保障する制度としては無償化に賛成するが、改正給特法で教職調整額を上げる代わりに他の手当てを削るといった付け替えではなく、教育予算に影響を与えないことが最大の要求である」と強調しました。



7.20(日)第27回参議院議員通常選挙

★投票は①選挙区選挙、②比例代表選挙の2種類です。

①選挙区選挙 クリーム色の投票用紙に「候補者名」を記載して投票します。

②比例代表選挙 白色の投票用紙に「候補者名」を記載して投票します。
(候補者名に代えて「政党名」を記載して投票することもできます)

★投票日当日に仕事、旅行などの予定のある方は、期日前投票ができます。

今回の投票日は夏季休業に入ったばかりの3連休の中日、また兵庫県教員採用試験・1次筆記試験の日もあります。投票権を確実に行使するために、期日前投票を積極的にご利用ください。

投票期間 7月4日(金)~7月19日(土) 投票時間 午前8時30分~午後8時(一部の投票所を除く)

※ 兵庫県内の期日前投票所一覧は下記 URL または右の二次元コードから確認できます。

https://senkyo.pref.hyogo.lg.jp/ev_list/



第1回全県分会代表者会議

とき：7月12日(土) 13:30~16:30

ところ：神戸市教育会館 403号室

内容：中央情勢、組織拡大のとりくみについて、
分会交流 他

※組合員の方はどなたでもご参加いただけます。

2025年度青年部職場実態調査 にご協力をお願いします！

調査期間：7月1日(火)~10月15日(水)

調査方法：下記URLまたは二次元コード
より回答してください。

<https://forms.gle/yfKvQHom3SyUrAxFA>

